

## 2月各地区代表者会議

## ミルシートについて討議

2月24日(金)正午より大阪「鉄鋼会館」で各地区代表者会議が開催された。席上、全鉄連の阪上会長は「昨年に引き続いての開催である。行政はじめ関係各方面に流通が抱えている問題などを説明し、善処を要望してきた。本日の会議はこれまでアピールしてきたことを踏まえながら、みなさんの発言をもとに、それを取りまとめ全鉄連活動の指針にしていきたい」と挨拶を述べたに続き、これまで全鉄連が要望してきた①外国人研修者の就労期間延長②助成金、税制面での優遇措置③事業継承における非上場株の軽減評価④ミルシートの取り扱いと有料化の四事項について所信を述べると共に提案を行った。

その後、出席した12団体13名全員が発言。各地区の情勢、メーカー・商社への要望、行政など関係確保面への要望、全鉄連への要望などをテーマとして論議した。なかでも主たるテーマとな

ったミルシートについては、有料化を求める意見が多数を占めた。その意図するところは不必要なミルシートの発行を要求され、事務が煩雑化し、経費がかさむという実態を改善しようとするものである。「主眼は有料化より、添付免除である」との発言があったように、有料化することによって本当に必要なミルシートだけが発行されることになれば事務処理軽減が図られるわけだ。

各地区の状況では会員減少に対する方策、地元業者優先についての行政への働きかけなどが述べられた。また、地域でのブロック会議を行いたいとの提案もあった。品種別では薄板の玉不足が東西ともにあるとのことだった。そして、このたびのメーカーの大幅値上げについては、異口同音に転嫁が追いつかない実情が吐露されていた。

会議は午後3時に終了となり、その後、正副会長が記者会見に臨み、概況を述べていた。

## 流動調査1月実績

## 販売減退、在庫率上昇

1月実績では前月比で仕入・販売ともに1割前後の減少、前年比では仕入は3カ月連続増加だが、販売は3ヶ月ぶりに前年実績を下回った。在庫は前月比で2カ月連続増加、前年比では昨年5月以来9カ月連続減少となっている。例年1月は正月休みもあり稼働日数が少ないため販売減となるが、販売実績17万トン台は23年5月以来の低水準である。在庫率は販売著減、在庫増により121.2ポイントと一気に上昇した。品種別に見ると仕入では前月比で全品種減少し、前年比では異

形棒鋼以外増加している。販売でも前月比で全品種が減少。前年比ではコラム以外減少している。在庫は前月比で異形棒鋼以外の品種が増加。前年比では異形棒鋼、C形鋼が増加し、山形鋼、溝形鋼、H形鋼、コラムが減少している。H形鋼は前年比1割強の減少を見せている。ときわ会1月末在庫では185,700トン、前月比+5.6%と増加したがそれほど高い水準ではない。1月帳破明けから荷動き、引き合いなど商況が先細り傾向にあり、仮需一服の状態といえそうだ。

(注) ①調査開始、昭和48年4月。②調査対象企業 東京31、大阪21、愛知15、計67社。③平成12年4月、本調査の対象品種見直しを行い、プレーン、不等辺、I形鋼、デッキ・キーストンを除外し、コラムを追加した。

(単位：トン、%)

	仕入量	前月比	前年比	販売量	前月比	前年比	在庫量	前月比	前年比
異形棒鋼	74,876	86.7	98.4	75,267	89.7%	99.5%	19,253	98.0	103.1
山形鋼	24,776	87.4	105.3	23,801	90.5%	94.5%	49,168	102.0	93.6
溝形鋼	17,077	93.9	101.2	16,727	94.1%	96.2%	31,461	101.1	96.8
H形鋼	56,230	93.7	110.0	49,082	86.1%	96.8%	82,965	109.4	89.4
コラム	8,758	96.4	101.1	8,191	98.7%	112.0%	23,790	102.4	99.5
C形鋼	5,873	94.3	102.7	5,376	86.9%	96.1%	9,718	105.4	107.9
合計	187,590	90.1	103.1	178,444	89.5%	98.1%	216,355	104.4	94.3

## 2月業況アンケート結果 好調さ持続も一服感

### 多くのみなさまの声を反映するためアンケート調査にご協力を！

この調査は全鉄連理事・幹事会社151社を対象に毎月実施している。数量調査ではないが、鋼材市場の現状が結果に現れている。回答63社(41.7%) \*DI=A×2+B×1-D×1-E×2

問1 1月の売上数量・金額の前年同月比

	A10%以上増	B5%以上増	Cほぼ横ばい	D5%以上減	E10%以上減	計・DI	前回実績
売上数量(%)	9(14%)	9(14%)	24(38%)	14(22%)	7(11%)	63・-2	67・+6
売上金額(%)	12(19%)	10(16%)	23(36%)	12(19%)	6(10%)	63・+16	65・+15

数量においては横這いだが、売上金額は増加。市況が前年同月よりやや高い水準にある。これにより販売単価の改善が図られ、売上増に寄与したと思われる。

問2 1月の企業収益状況

	A黒字	B若干黒字	C収支トントン	D若干赤字	E赤字	計・DI	前回実績
収益状況(%)	18(29%)	14(22%)	19(30%)	8(13%)	4(6%)	63・+54	66・+64

前年1月のDIは+6、前々年は-2であった。収益面でも好転している。

問3 2月販売量の前月比

	Aかなり増加	Bやや増加	Cほぼ横ばい	Dやや減少	E減少	計・DI	前回実績
公共建設	2	6	25	11	2	46・-11	48・-15
民間建設	2	11	25	15	1	54・-4	56・±0
自動車	1	3	23	4		31・+3	28・±0
その他需要家	2	9	29	13	1	54・-4	54・+8
仲間取引	1	5	28	15	3	52・-27	54・-2
計・比率	8(3%)	34(14%)	130(55%)	58(25%)	7(3%)	237・-9	245・-1

仲間取引で前月よりマイナスが25ポイント増加。仮需一巡の様相か？

問4 3～5月の需要動向予測

	A増加	B微増	Cほぼ横ばい	D微減	E減少	計・DI	前回実績
需要動向予測		25(40%)	29(46%)	7(11%)	2(3%)	63・+22	66・+42

前年2月のDIは-8と期待薄だったが、今年はある程度の期待感あり。ただ、1月より数値が減少。これは思ったほどの需要は出ないとの見極めか。

## 各地区団体活動報告

\*加盟各団体からの報告を掲載。

### 東京鉄鋼販売業連合会（齊藤栄一会長）

①3月4日（土）東京製鉄㈱田原工場を見学。  
参加者40名。

②3月23日（木）午後5時より茅場町「ハロー会議室」でビットコインセミナーを開催する。

### 大阪鉄鋼流通協会（阪上正章会長）

3月15日（水）同協会研修交流委員会主催による製鉄所見学会を実施。見学先は㈱神戸製鋼所加古川製鉄所。原料ヤード、高炉、転炉、連続铸造設備、圧延ラインなどを見学する予定。参加者50名を見込む。

### 北海道鋼友会（今井國雄会長）

3月23日（木）正午より提示総会を札幌市内「札幌グランドホテル・新緑の間」で開催。これに合わせて講演会も併催する。

### 新潟県鉄鋼販売連合会（渋井信之会長）

2月27日（月）三条商工会議所会館において「めっき割れのメカニズムとその防止方法につい

て」と題する講習会を新潟県鉄骨工業組合と合同開催した。当日は同会会員のほか鉄骨ファブリーケーター幹部や事務担当者約140名が参加した。

### 広島鉄鋼特約店組合（緑 博康理事長）

3月5日（土）広島市西区のグランドでソフトボール大会を開催。10社6チームが参加し、優勝を争った結果、奥平パイプ興業、共永興業、大鋼鋼業、富士鋼材、三星商事の5社連合が優勝した。このソフトボール大会は今回で27回目を迎える同組合の恒例行事である。

### 石川県鉄鋼会（南昭武会長）

4月5日（水）総会を金沢市内「ガーデンホテル金沢」にて開催。全鉄連・阪上会長を囲んでの座談会も併催する。

### 岡山鋼材クラブ（重光 裕会長）

4月中旬に定時総会を岡山機工センター事務局において開催する

（了）